

【ファッションデザイン科 1年】

		カリキュラム	コマ数	担当
一般 科目	必修	コミュニケーション活動 I	30	カルフォ
	選択	I Tリテラシー	15	鈴木
専門 科目	選択	ファッションコーディネート	15	長野
		ファッションビジネス論	15	安藤・戸村
		コミュニケーション技法	15	長野
	必修	ソーイング I	75	安藤
		ファーストプロジェクト	30	長野
		パターンメイキング I	45	石井
		ドレーピング I	15	石井
		ファッションデザイン I	30	大谷
		アパレル素材論 I	15	金原
		デザインリサーチ I	45	カルフォ
		色彩学	30	塚本
		ファッショントレンド I	15	菅・相川
		現代ファッション史	15	金原
		デザインアプリケーション I	30	本野
		ファッション経済学	15	菅
		特別 科目	必修	キャリアプラン I
選択	共通選択科目		15	担当講師
年間履修時間数			480	
年間授業日数			180	

シラバス（授業概要）		年度	2026年度		
時間数は45分換算		科目コード			
授業科目名		授業形態	学科・コース		
コミュニケーション活動Ⅰ		演習	ファッションデザイン科		
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	通年	必修	60	1	カルフォ香奈
履修要件					
・必修科目であるため必ず履修が必要である					
授業の目的・目標					
クラスや学科でのグループ活動をとおして、社会性を身に着ける。ファッションに役立つ企画展・展示会などの鑑賞で視野を広げ、レクリエーションを通してコミュニケーションの大切さを学ぶ。					
授業の概要					
各種プログラムを通して、感性の向上とコミュニケーションの重要性を理解し、相手に考えや意思を伝え合うことを学ぶ。					
成績評価の方法					
授業態度や参加意欲および出欠席状況、レポートなど総合的に評価する。				課題	10%
				提出物	20%
				学習意欲	70%
使用テキスト・教材					
授業内容・授業計画					
			時間数		時間数
1.	オリエンテーション		2		
2.	〃		2		
3.	〃		2		
4.	〃		2		
5.	学校行事・学科活動		2		
6.	芸術鑑賞		2		
7.	〃		2		
8.	健康診断		2		
9.	レクリエーション		2		
10.	〃		2		
11.	〃		2		
12.	〃		2		
13.	ファッション校外研修		2		
14.	〃		2		
15.	〃		2		
履修上の注意事項					
各種プログラムにより、レポート課題を提出することが求められる。					
その他			関連科目		
※单元ごと演習課題を実施する。					
※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス（授業概要）			時間数は45分換算		年 度	2026年度
					科目コード	
授 業 科 目 名			授 業 形 態		学 科 ・ コー ス	
ITリテラシー			演 習		フ ァ ッ シ ョ ン デ ザ イ ン 科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
1	前期	選択	30	1	鈴木 栄人	
履修要件						
・ 選択科目であるが、必ず履修が必要である						
授業の目的・目標						
自分のパソコンの使用環境を設定する。Microsoft365などを使用できるようになる。スマホと連携して今後の授業活動に活用できるように知識を習得する。生成AIを適切に利用することを学習する。						
授業の概要						
自分のパソコンに必要となるアプリケーションをインストールし、情報機器を連携させて活用することができるようになる。具体的にはMicrosoft365環境の実装、各アプリケーションの基本的な利用方法を習得する。OneDrive環境を利用したスマホ⇄PCの連携方法ができるようになる。Powerpointを利用して、情報発信を行う。生成AIの適切な利用方法を演習を通して学ぶ。						
成績評価の方法						
1. 課題（提出させた課題の完成度）					課題	50%
2. 提出物（授業日に作成したファイルの提出状況）					提出物	40%
3. 学習意欲（授業意欲の有無、授業に取り組む姿勢）					学習意欲	10%
使用テキスト・教材						
使用テキスト：なし						
教材：自分のパソコン						
授業内容・授業計画						
			時間数			時間数
1	オリエン、インストール確認		2			
2	OSの基本操作、Zoomの使い方		2			
3	Webアプリとデスクトップアプリについて		2			
4	OneDriveの使い方。AdobeInst		2			
5	Adobeソフトのインストールの確認		2			
6	スマホとパソコンを連携させる		2			
7	Wordの紹介		2			
8	Excelの紹介		2			
9	生成AIの活用方法		2			
10	Canvaの使用法		2			
11	PowerPointをプレゼンの仕組み		2			
12	ナレーション入り動画作成法		2			
13	テーマに沿った		2			
14	PowerPointから動画作成		2			
15	今後のPC活用について		2			
履修上の注意事項						
単元内容に応じた課題を確実に提出することが求められる						
その他				関連科目		
※単元ごと演習課題を実施する。						
※実務経験のある教員が担当する科目である。						

シラバス（授業概要）			時間数は45分換算		年 度	2026年度
					科目コード	
授 業 科 目 名			授 業 形 態		学 科 ・ コー ス	
ファッションコーディネート			演習		ファッションデザイン科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
1	前期	選択	30	1	長野 景惟	
履修要件						
・ 選択科目であるが、必ず履修が必要である						
授業の目的・目標						
被服製作をスムーズに進めるため、各道具の使い方を知り、デザイン・生地にあったテクニックを身に付ける。						
授業の概要						
被服製作において、製図及び縫製時に使用する基本的な道具を使い、手縫いとミシンのテクニックを学ぶ。						
成績評価の方法						
授業に取り組む姿勢・提出期限を守るなどの事柄を総合して評価する。					課題	60%
					提出期限	20%
					学習意欲	20%
使用テキスト・教材						
文化ファッション大系服飾①服飾造形の基礎、洋裁道具一式、A3クリアブック20Pブルー、シーチング(1冊)						
授業内容・授業計画						
			時間数			時間数
1	服飾造形について・シラバス説明		2			
2	使用道具の説明 仕付け糸の準備		2			
3	用布（シーチング）のカット		2			
4	手縫い しつけ・運針など		12			
	折り代の始末（各まつり縫い）					
	ホック類・ボタン付け					
	糸ループ					
	ろう引きの仕方					
5	ミシン縫い		12			
	直線・ジグザグ・曲線縫い					
	三つ折りミシン					
	縫い代の始末					
	（折伏せ縫い・袋縫い等）					
	星止め（手縫い・ミシン）					
履修上の注意事項						
・ 選択科目であるが、必ず履修が必要である						
その他				関連科目		
※单元ごと演習課題を実施する。						
※実務経験のある教員が担当する科目である。						

シラバス（授業概要）				年 度		2026年度	
				科目コード			
時間数は45分換算							
授 業 科 目 名			授 業 形 態		学 科 ・ コー ス		
ファッションビジネス論			講義演習		ファッションデザイン科		
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員		
1	前期	必修	20	1	安藤 明子 戸村 寿恵子		
履修要件							
・必修科目であるため必ず履修が必要である							
授業の目的・目標							
人体を知り、平面作図の基になる原型を理解することで、今後の平面作図による被服製作につないでいく。							
授業の概要							
文化式の基本パターンを布で組み立て、体に合わせて補正し自身の体形に合わせた原型を作る。							
成績評価の方法							
授業に取り組む姿勢・制作物に対しての取り組みを総合して評価する。					学習意欲	60%	
					提出物	40%	
使用テキスト・教材							
誌上・パターン塾Vol.1トップ編、服飾造形講座1服飾造形の基礎、縮尺定規一式、定規一式、ガラスメジャー、カッターナイフ、シーチング、マスキングテープ							
授業内容・授業計画							
			時間数				時間数
1	人体観察・原型について		1				
2	採寸		1				
3	B原型を調整してトレース（用紙）		2				
4	シーチングトレース（用布）		4				
5	組み立て①ダーツ ②肩・脇 ③後ろ中心 ④前中心 ⑤裾上げ		7				
6	仮縫い・補正		4				
7	自身原型制作		1				
履修上の注意事項							
単元内容に応じた課題を確実に提出することが求められる							
その他				関連科目			
※単元ごと演習課題を実施する。							
※実務経験のある教員が担当する科目である。							

シラバス（授業概要）			時間数は45分換算		年 度	2026年度
					科目コード	
授 業 科 目 名			授 業 形 態		学 科 ・ コー ス	
コミュニケーション技法			演習		ファッションデザイン科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
1	前期	必修	40	1	長野 景惟	
履修要件						
・必修科目であるため必ず履修が必要である						
授業の目的・目標						
既存の基本パターンから制作の流れの理解、スカートの構造と縫製方法を身につける。						
授業の概要						
基本のタイトスカートを制作する。ファスナー・ベルト・ベンツをの縫製方法を学び、基礎縫いのテクニックを実践する。						
成績評価の方法						
作品の完成度、課題の提出期限、授業に対する取り組み等を総合して評価する。					課題	50%
					提出期限	30%
					学習意欲	20%
使用テキスト・教材						
誌上パターン塾Vol.2スカート編、製図道具一式、洋裁道具一式						
授業内容・授業計画						
			時間数			時間数
1	基礎知識、採寸		2			
2	スカート実物製図		2			
3	シーチングトレース、裁断、組立		6			
4	補正・パターン作り（縫い代つき）		8			
5	生地裁断・印付け		4			
6	部分縫い ①ベンツ		2			
7	②ファスナー		2			
8	本縫い 芯貼り、ロックミシン ベンツ、ファスナー ダーツ、脇縫い 裾始末（手まつり）		4			
	部分縫い ③ベルト		2			
	本縫い ベルト、ホック、スナップ		2			
9	仕上げアイロン、仕様書まとめ		2			
履修上の注意事項						
単元内容に応じた課題を確実に提出することが求められる						
その他				関連科目		
※単元ごと演習課題を実施する。						
※実務経験のある教員が担当する科目である。						

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年 度	2026年度	
				科目コード		
授 業 科 目 名			授 業 形 態		学 科 ・ コ ー ス	
ソーイング I			演習		ファッションデザイン科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
1	後期	選択	60	3	安藤 明子	
履修要件						
・ 選択科目であるが、必ず履修が必要である						
授業の目的・目標						
ソーイングBで作った自身のバスト原型を使用し、一般的なシャツの製図法・構造・縫製法を学ぶ。またその過程で様々な道具の扱いを学ぶ。						
授業の概要						
シャツに関する基礎的な知識を学んだ後、原型を使って身頃・袖・襟を製図する。製図をもとにパターンを作り生地を裁断。工程にそって各部を縫製し、台衿つきのシャツを完成させる。						
成績評価の方法						
作品の完成度・課題の提出及び提出期限・授業に対する取り組み等を総合的に評価する。				学習意欲	40%	
				課題完成度	40%	
				提出期限	20%	
使用テキスト・教材						
文化ファッション大系服飾造形講座③ブラウスワンピース、誌上パターン塾トップ編 洋裁道具一式、全定規一式、シーチング、マスキングテープ、(後日生地・副資材)						
			時間数		時間数	
1	シラバス、基礎知識		2	16	⑨カフ作り・付け	
2	作図説明・原型操作		2	17	⑩ボタンホール・ボタン付け	
3	作図 身頃		20	18	⑪裾始末	
4	襟・袖			19	部分縫い・剣ボロ	4
5	パートレース		4	20	工程表・仕様書作成・まとめ	2
6	パターン		4			
7	裁断・印し付け・芯貼		8			
8	本縫い①上前身頃		34			
9	②下前身頃					
10	③後ろ見頃					
11	④ダーツ					
12	⑤ポケット					
13	⑥ヨーク付け					
14	⑦衿作り・衿付け					
15	⑧袖作り・剣ボロ・袖付け					
履修上の注意事項						
単元内容に応じた課題を確実に提出することが求められる						
その他			関連科目			
※単元ごと演習課題を実施する。						
※実務経験のある教員が担当する科目である。						

シラバス（授業概要）			時間数は45分換算		年 度	2026年度
					科目コード	
授 業 科 目 名			授 業 形 態		学 科 ・ コー ス	
ファーストプロジェクト			演習		ファッションデザイン科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
1	後期	必修	50	2	長野 景惟	
履修要件						
・ 必修科目であるため必ず履修が必要である						
授業の目的・目標						
既存の基本パターンから制作の流れの理解、パンツ構造と縫製方法を身につける。						
授業の概要						
パンツの基本的な構造を学び、製図・仮縫いを経て体型に合わせたパンツを縫製する。						
成績評価の方法						
1. 課題の完成度 2. 提出期限 3. 授業態度					課題	40%
					提出期限	40%
					学習意欲	20%
使用テキスト・教材						
誌上・パターン塾Vol.3パンツ編、製図道具一式、洋裁道具一式						
授業内容・授業計画						
			時間数			時間数
1	授業基本説明、採寸		2			
2	実物製図		2			
3	仮縫い裁断、組立		8			
4	補正・パターン作り（縫い代つき）		8			
5	生地裁断・印付け		4			
6	部分縫い①サイドシームポケット		4			
7	②脇ポケット		4			
8	本縫い（ポケット・股下・裾）		4			
9	部分縫い③ファスナー付け		4			
10	④ベルト		4			
11	本縫い（ファスナー・ベルト・ボタン又はホック）		4			
12	仕上げアイロン、仕様書まとめ		2			
履修上の注意事項						
単元内容に応じた課題を確実に提出することが求められる						
その他			関連科目			
※単元ごと演習課題を実施する。						
※実務経験のある教員が担当する科目である。						

シラバス（授業概要）		年度		2026年度	
		科目コード			
授業科目名		授業形態		学科・コース	
ソーイング I		演習		ファッションデザイン科	
	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	後期	必修	80	3	安藤 明子
履修要件					
・必修科目であるため必ず履修が必要である					
授業の目的・目標					
一般的なワンピースの製図を応用して自身のデザインを造形する。コンシールファスナー付け・袖付けなどのテクニックを学び、一年次のまとめとして習得した製図法や縫製法を生かす作品を制作する。。					
授業の概要					
一定の条件の中で自身のワンピースをデザイン。原型を操作して平面作図、仮縫いで立体にし体に合わせたパターンで実際にワンピースを制作する。またその工程・作品について資料にまとめる。					
成績評価の方法					
作品の完成度・課題の提出状況・一年次のまとめの作品に対する取り組み方等を総合的に評価する。				課題	50%
				学習意欲	30%
				提出期限	20%
使用テキスト・教材					
文化ファッション大系服飾③ブラウス・ワンピース、誌上パターン塾ワンピース編、洋裁道具一式、全定規一式、シーチング、（後日生地・副資材）					
授業内容・授業計画					
		時間数			時間数
1	シラバス・基礎知識	2	9	本縫い①コンシールファスナー付け	24
2	パターン塾による製図法	5		②切替え線	
3	各自デザイン1/2製図 実物製図	12		③肩・脇	
4	①シーチングトレース	6		④見返し・衿ぐり始末	
	②裁断・印付け	6		⑤袖づくり・袖付け	
	③組み立て	6	10	⑥ホック付け	
	④仮縫い・補正	8		10 工程表・仕様書作成	2
5	パターン	4			
6	裁断・印し付け（表地・芯地）	6			
7	芯貼・ロックミシン	2			
8	部分縫い コンシールファスナー付け 見返し作り・始末	3			
履修上の注意事項					
単元内容に応じた課題を確実に提出することが求められる					
その他			関連科目		
※単元ごと演習課題を実施する。					
※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス（授業概要）		時間数は45分換算		年 度	2026年度
				科目コード	
授 業 科 目 名			授 業 形 態		学 科 ・ コ ー ス
パターンメイキング I			演習		ファッションデザイン科
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	通期	必修	90	3	石井 裕子
履修要件					
・必修科目であるため必ず履修が必要である					
授業の目的・目標					
既製服の流れを知り、パターンメイキングの基礎を習得する。基本的なデザインをパターンに落とし込めるようになる。					
授業の概要					
パターンメイキングに必要な基礎知識や技術を学ぶ。					
成績評価の方法					
学習意欲、課題評価、提出期限を総合して評価。				学習意欲	40%
				課題評価	40%
				提出期限	20%
使用テキスト・教材					
文化ファッション大系テキスト、誌上・パターン塾テキスト、配布プリント、製図用具一式					
授業内容・授業計画					
			時間数		
1	既製服の概念 （用具、用語、J I S企画）		6		
2	パターンメイキングについて （種類、手法、基礎知識）		6		
3	スカート タイト・フレア・ギャザー・タック		12		
4	原型操作（身頃）		10		
5	ブラウス（トップス）作図の考え方①		10		
6	ディテール（衿）		16		
7	ディテール（袖）		16		
8	ブラウス（トップス）作図の考え方②		10		
9	パンツ		4		
履修上の注意事項					
単元内容に応じた課題を確実に提出することが求められる					
その他			関連科目		
※単元ごと演習課題を実施する。					
※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス（授業概要）		時間数は45分換算		年 度	2026年度
				科目コード	
授 業 科 目 名			授 業 形 態		学 科 ・ コー ス
ドレーピング I			演 習		フ ァ ッ シ ョ ン デ ザ イ ン 科
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	後期	必修	30	1	石井 裕子
履修要件					
・必修科目であるため必ず履修が必要である					
授業の目的・目標					
ドレーピングの基礎を習得。ベーシックスローパーを組み立てることができるようになる。					
授業の概要					
ドレーピングの基礎、トワルの取り扱いとピンワーク～ドラフティングを学ぶ。					
成績評価の方法					
学習意欲、課題評価、提出期限を総合して評価。				学習意欲	40%
				課題評価	40%
				提出期限	20%
使用テキスト・教材					
文化ファッション大系、配布プリント、キプリス9AR工業用ボディ、ドレーピング用具一式					
授業内容・授業計画					
			時間数		
1 立体裁断について			1		
2 道具、シーチングの扱い方			1		
3 ベーシックスローパー（ストレート）			6		
4 ベーシックスローパー（タイト）			6		
5 スカート			6		
6 ブラウスディテール（衿、袖）			10		
履修上の注意事項					
単元内容に応じた課題を確実に提出することが求められる					
その他			関連科目		
※単元ごと演習課題を実施する。					
※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス（授業概要）			年度		2026年度
			時間数は45分換算		科目コード
授業科目名			授業形態		学科・コース
ファッションデザイン I			演習		ファッションデザイン科
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	通期	必修	60	2	大谷 順
履修要件					
・必修科目であるため必ず履修が必要である					
授業の目的・目標					
ファッションデザイン画の基礎を習得する。様々な着装・素材・発想表現が出来る。					
授業の概要					
ファッションデザイン画の基礎技術と表現力の習得を目的とする。 人体の基本構造やプロポーションを理解し、デザイン画として正確かつ魅力的に描写するための基礎力を身につける。					
成績評価の方法					
課題評価と学習意欲による点数。				課題	80%
				学習意欲	20%
使用テキスト・教材					
文化ファッション大系ファッションデザイン画テキスト、資料プリント、ケント紙、彩色用具					
授業内容・授業計画					
			時間数		時間数
1.	授業説明・基本プロポーション練習		4		
2.	基本プロポーション習得		4		
3.	アイテム図1		4		
4.	重心の移動したヌードを描く		4		
5.	斜めからヌードを描く		4		
6.	写真のヌードを8頭身にする		4		
7.	着装表現 写真ポーズ		4		
8.	着装表現 ベーシックドレス		4		
9.	手、足、顔の書き方		4		
10.	オリジナルデザイン 着色		4		
11.	ファッション画作成		4		
12.	ファッション画仕上げ		4		
13.	素材表現		4		
14.	アイテム図2		4		
15.	発想練習 1		4		
履修上の注意事項					
単元内容に応じた課題を確実に提出することが求められる					
その他			関連科目		
※単元ごと演習課題を実施する。					
※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス（授業概要）		年度	2026年度		
		科目コード			
授業科目名		授業形態		学科・コース	
アパレル素材論 I		講義演習		ファッションデザイン科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	通期	必修	30	2	金原 陽子
履修要件					
・必修科目であるため必ず履修が必要である					
授業の目的・目標					
<ul style="list-style-type: none"> ・アパレル製品の必須要素『素材』に興味をもち、研鑽しようとする動機付けをする。 ・様々な素材の物性・感性を理解し、他の教科にも得た知識を活用することが出来る。 					
授業の概要					
教科書からの知識にとどまらず、素材に実際に触れる機会を増やし、物性面、感性面バランス良く学ぶ。					
成績評価の方法					
1. 試験・課題（期末試験点数、実習課題の完成度）			試験・課題	60%	
2. 平常点（主体的授業参加度）			平常点	20%	
3. 学習意欲（学習意欲の有無、授業に取り組む姿勢）			学習意欲	20%	
これらの観点より総合的に評価する。					
使用テキスト・教材					
アパレル素材論（文化服装学院編） 表生地標本集 A4ファイル					
授業内容・授業計画					
		時間数		時間数	
1	シラバス説明 素材論の学びと活用 ①	2	15 布地の仕上げ加工①	2	
2	素材論の学びと活用②	2	16 布地の仕上げ加工②	1	
3	素材論の学びと活用③	2	フォーマル素材①	1	
4	品質表示	2	17 フォーマル素材②	1	
5	天然繊維②（毛 絹）	2	その他の布地① レース	1	
6	化学繊維①再生繊維 半合成繊維	2	18 その他の布地② 天然皮革	2	
7	化学繊維②合成繊維	2	19 その他の布地③人工皮革 毛皮 羽毛	2	
8	糸について	2	20 まとめ	1	
9	布地①織の三原組織	2	試験②	1	
10	布地②編の三原組織	2			
11	試験①	1			
	意匠糸	1			
12	織実習①オリジナルスワッチ製作	2			
13	織実習②オリジナルスワッチ製作	2			
14	布地の変化組織	2			
履修上の注意事項					
単元内容に応じた課題を確実に提出することが求められる					
その他		関連科目			
※単元ごと演習課題を実施する。					
※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス（授業概要）				年度		
				2026年度		
				科目コード		
授業科目名			授業形態		学科・コース	
デザインリサーチ I			演習		ファッションデザイン科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
1	後期	必修	90	3	カルフォ香奈	
履修要件						
・必修科目であるため必ず履修が必要である						
授業の目的・目標						
インスピレーションからリサーチ、発展、デザイン展開のながれを学ぶことができる。 手を動かしながら形やディテールのリサーチをしてデザインに反映していくことができる。 作品のプレゼンをすることで人に伝える力を身につけられる。						
授業の概要						
テーマに沿ってマインドマップ・ムードボードを作成し、デザインコンセプトを考える。手を動かし立体的なシルエットやディテールのリサーチする。それらをデザインに落とし込み、バリエーションを考える。過程はスケッチブックに記録しプレゼン時に作品と一緒に発表する。						
成績評価の方法						
<ul style="list-style-type: none"> 課題提出（作品完成度、発想の独自性） 学習意欲 				課題	60%	
				学習意欲	20%	
				プレゼン	20%	
使用テキスト・教材						
スケッチブック、配布プリント 洋裁道具、シャツ						
授業内容・授業計画						
			時間数		時間数	
1.	授業説明、即興デザイン&デッサン		4	16.	④アップサイクル マインドマップ	4
2.	①即興DD、マインドマップ		4	17.	リサーチ、ムードボード、素材リサーチ	4
3.	即興DD、画像リサーチ・ムードボード		4	18.	素材リサーチ、デザイン発想	4
4.	リサーチからの即興DD、デザイン画		4	19.	素材リサーチ、デザイン発想	4
5.	デザイン展開 → デザイン画4体		4	20.	1/2マネキン使ってデザイン展開	4
6.	②アール・ヌーヴォー マインドマップ		4	21.	デザイン画 バリエーション4体	4
7.	画像リサーチ・ムードボード、即興DD		4	22.	デザイン決定、プレゼン準備	4
8.	リサーチからのコラージュデザイン画		4	23.	最終プレゼン、まとめ	2
9.	デザイン展開 → デザイン画4体		4			
10.	③シャツ即興DD、好きな〇〇を立体で表現		4			
11.	画像リサーチ・ムードボード、シャツ即興DD		4			
12.	シャツ即興DD、デザイン画展開		4			
13.	シャツ立体表現		4			
14.	シャツ立体表現		4			
15.	シャツ立体表現・デザイン画 プレゼン		4			
履修上の注意事項						
単元内容に応じた課題を確実に提出することが求められる						
その他			関連科目			
※単元ごと演習課題を実施する。						
※実務経験のある教員が担当する科目である。						

シラバス (授業概要)			年度		2026年度
			科目コード		
授業科目名			授業形態		学科・コース
色彩学			講義演習		ファッションデザイン科
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	前期	必修	60	4	塚本 由紀江
履修要件					
・必修科目であるため必ず履修が必要である					
授業の目的・目標					
色彩検定3級の学習を通して、色を理論的、体系的に学び、色彩学の基礎を身に付ける。配色のアイデアの幅が広がり、センスが磨かれる。配色効果の予測やイメージの表現など、実務に応用する力が養われる。色の選択や配色の意図について、理論に基づいて説明することができる。					
授業の概要					
光と色の関係、色が見えるしくみ、色の体系、配色と配色イメージ、色彩心理、ファッションやインテリアの配色の基本的な考え方などについて、テキストを中心にプリントや教材を使用して学習する。					
成績評価の方法					
提出物、検定試験の結果、学習意欲を総合的に判断して決定する。				提出物	40%
				検定試験	40%
				学習意欲	20%
使用テキスト・教材					
色彩検定3級テキスト、過去問題集2025、配色カード199a、のり、はさみ					
授業内容・授業計画					
			時間数		時間数
1	脳で生まれる色の感覚/色の理論とデザイン	2	16	ファッションと色彩	2
2	色のはたらき/カラートレンド	2	17	インテリアと色彩/色の心理効果	2
3	色はなぜ見えるのか? 光とは何か	2	18	過去問題集による模擬試験 (2025夏期)	4
4	光の性質と色 眼のしくみ	2	19	過去問題集による模擬試験 (2026冬期)	4
5	照明と色の見え方	2	20	復習 (光と色、PCCS、慣用色名)	4
6	混色	2	21	復習 (色彩心理 色彩調和 配色イメージ)	4
7	色の分類と三属性 等色相面 色立体 他	2			
8	PCCS 三属性 等色相面 色立体 他	2			
9	PCCS ヒュートーンシステム	2			
10	色の心理効果 三属性との関係 連	2			
11	色の視覚効果 対比・同化・面積効果 他	2			
12	色相・トーンを手がかりとした配色	2			
13	色相とトーンを組みあわせた配色	2			
14	基本的な配色の技法	2			
15	色相・トーンと関連する配色イメージ	2			
履修上の注意事項					
単元内容に応じた課題を確実に提出することが求められる					
その他			関連科目		
※単元ごと演習課題を実施する。					
※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年 度	2026年度
				科目コード	
授 業 科 目 名			授 業 形 態		学 科 ・ コー ス
ファッショントレンド I			講義演習		ファッションデザイン科
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	通年	必修	30	2	菅 麻紀 相川 克彦
履修要件					
・必修科目であるため必ず履修が必要である					
授業の目的・目標					
パラダイムシフトの中におけるファッションの変化を理解しながら、新時代の業界人の役割を理解する。					
授業の概要					
ファッション業界におけるトレンドの成り立ちと変化の仕組みを理解し、それをデザイン・企画・表現へと活かすための基礎力を養うことを目的とする。					
成績評価の方法					
課題提出および授業の出席率を総合的に評価				課題	60%
				学習意欲	40%
使用テキスト・教材					
ファッション週刊誌「WWDJAPAN」「WWDJAPAN Digital」(INFASパブリケーションズ)					
授業内容・授業計画					
			時間数		時間数
1.	WWD JAPAN紙面よりトピック解説		2		
2.	〃		2		
3.	〃		2		
4.	〃		2		
5.	〃		2		
6.	ブランド研究・解説		2		
7.	〃		2		
8.	〃		2		
9.	〃		2		
10.	〃		2		
11.	デザイナー研究・解説		2		
12.	〃		2		
13.	〃		2		
14.	〃		2		
15.	〃		2		
履修上の注意事項					
単元内容に応じた課題を確実に提出することが求められる					
その他			関連科目		
※単元ごと演習課題を実施する。					
※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス（授業概要）		年度	2026年度		
		科目コード			
時間数は45分換算					
授業科目名		授業形態	学科・コース		
現代ファッション史		講義演習	ファッションデザイン科		
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	通年	必修	30	2	金原 陽子
履修要件					
・必修科目であるため必ず履修が必要である					
授業の目的・目標					
<ul style="list-style-type: none"> ・自己表現の手段としての『衣服』であるが、その時々々の社会環境や生活者の思いが表現されたツールでもある。紐解きながら、衣服を再確認する。 ・デザイン発想のヒントとして資料を使うことが出来るようになる。 					
授業の概要					
各時代の社会背景、副資材・製造技術の進歩に伴う服飾の変化を学ぶ。					
成績評価の方法					
1. 試験（期末試験点数）			試験	50%	
2. 平常点（主体的授業参加度）			平常点	30%	
3. 学習意欲（学習意欲の有無、授業に取り組む姿勢）			学習意欲	20%	
これらの観点より総合的に評価する。					
使用テキスト・教材					
ヨーロッパモード（文化学園服飾博物館）、資料プリント、A4ファイル					
授業内容・授業計画					
		時間数			時間数
1	シラバスの説明	1	9	20世紀の服飾②	1
	古代～中世の服飾①	1		20世紀の服飾③	1
2	古代～中世の服飾②	1	10	まとめ	1
	16世紀の服飾①ルネサンス列強国	1		試験	1
3	16世紀の服飾②	1			
	17世紀の服飾①オランダスタイル	1			
4	17世紀の服飾②ルイ14世時代	2			
5	18世紀の服飾①ルイ15世時代	1			
	18世紀の服飾②ルイ16世時代	1			
6	19世紀の服飾①第一帝政	2			
7	19世紀の服飾②王政復古	1			
	19世紀の服飾③第二帝政	1			
8	19世紀の服飾④第三共和制	1			
	20世紀の服飾①	1			
履修上の注意事項					
単元内容に応じた課題を確実に提出することが求められる					
その他			関連科目		
※単元ごと演習課題を実施する。					
※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス（授業概要）			年度		2026年度	
			時間数は45分換算		科目コード	
授業科目名			授業形態		学科・コース	
デザインアプリケーション I			演習		ファッションデザイン科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
1	後期	必修	60	2	本野 智美	
履修要件						
・必修科目であるため必ず履修が必要である						
授業の目的・目標						
デザインの現場で必須であるデザイン系アプリであるIllustrator、Photoshopを学びながら、ファッション業界におけるグラフィックスキルの関連と重要性を学ぶ。						
授業の概要						
ツール等の基礎知識から基本操作の習得を積み重ね、簡単な図形制作から資料作成など、PCでデザインできる力を身につけていく。カテゴリー終了ごとに終了課題にチャレンジし、グラフィックデザインの基礎技術を身につける。						
成績評価の方法						
1. 学習意欲／取り組みの姿勢と真剣度					学習意欲	20%
2. 理解度／基本操作の理解					理解度	30%
3. 課題提出／提出期限の厳守とデザインクオリティを評価対象とする					課題提出	50%
使用テキスト・教材						
ノートパソコン毎回持参・「Illustratorしっかり入門」教科書配布・必要に応じてプリント配布						
授業内容・授業計画						
			時間数			時間数
1	Illustrator基礎		14	16	・デザイン制作～提出	
2	〈イラストレーターの基本操作〉			17	【Illustrator応用課題】『名刺デザイン』	8
3	基本図形の描き方と変形操作習得			18	・発想～アイディア出し	
4	〃			19	・デザイン制作	
5	オブジェクトの編集とレイヤーの基本習得			20	・デザインブラッシュアップ～提出	
6	色とグラデーションの設定習得			21	Photoshop基礎	4
7	変形・合成・特殊効果習得			22	色調補正・選択範囲・画像修正	
8	【Illustrator基礎課題】『図形課題』		6	23	【Photoshop応用課題】『合成課題』	4
9	・デザイン制作～提出			24	・デザイン制作～提出	
10	〃			25	【総合課題】『ムードボードデザイン』	12
11	画像の配置と編集		4	26	・発想～アイディア出し	
12	文字操作と段落設定習得			27	・デザイン制作	
13	パスの描画と編集習得		4	28	〃	
14	〃			29	・デザインブラッシュアップ	
15	【Illustrator基礎課題】『ペンツール』		4	30	クラス内プレゼンテーション～提出	
履修上の注意事項						
単元内容に応じた課題を確実に提出することが求められる						
その他			関連科目			
※単元ごと演習課題を実施する。						
※実務経験のある教員が担当する科目である。						

シラバス（授業概要）				年度	
				2026年度	
				科目コード	
時間数は45分換算					
授業科目名			授業形態		学科・コース
ファッション経済学			講義		ファッションデザイン科
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	通期	必修	30	2	菅 麻紀
履修要件					
・必修科目であるため必ず履修が必要である					
授業の目的・目標					
多様化する社会的需要に応じて、ファッションの役割を様々な視点で学び、業界の基礎知識の理解を深め、創造に活かせる情報の引き出しを増やす。					
授業の概要					
ファッション業界で働くために必要なキャリア意識と職業観を養い、学生一人ひとりが自分に適した進路を主体的に考え、具体的な行動につなげていくことを目的とする。					
成績評価の方法					
平常点（主体的授業参加度）、学習意欲（学習意欲の有無、授業に取り組む姿勢） これらを総合的に評価する。				平常点	40%
				学習意欲	60%
使用テキスト・教材					
映像資料					
授業内容・授業計画					
			時間数		時間数
1.	オリエンテーション		2		
2.	広義的ファッションとトレンド		2		
3.	ファッションビジネスの変遷		2		
4.	50年代 社会経済カルチャーとトレンド		2		
5.	60年代 社会経済カルチャーとトレンド		2		
6.	〃		2		
7.	70年代 社会経済カルチャーとトレンド		2		
8.	〃		2		
9.	80年代 社会経済カルチャーとトレンド		2		
10.	〃		2		
11.	〃		2		
12.	90年代 社会経済カルチャーとトレンド		2		
13.	〃		2		
14.	2000年代 社会経済カルチャーとトレンド		2		
15.	まとめ		2		
履修上の注意事項					
単元内容に応じた課題を確実に提出することが求められる					
その他			関連科目		
※単元ごと演習課題を実施する。					
※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス（授業概要）		時間数は45分換算		年度	2026年度
				科目コード	
授業科目名			授業形態		学科・コース
キャリアプラン I			演習		ファッションデザイン科
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	通期	必修	30	1	菅 麻紀
履修要件					
・必修科目であるため必ず履修が必要である					
授業の目的・目標					
社会で求められるコミュニケーションスキルと課題解決能力を養うと共に、ファッション業界を構成するアパレル生産・流通システム、そのほか服飾に関わる職種について知り、就職活動に向けた心構えと具体的な進路に向け必要な準備を行う。					
授業の概要					
ファッション業界で働くために必要なキャリア意識と職業観を養い、学生一人ひとりが自分に適した進路を主体的に考え、具体的な行動につなげていくことを目的とする。					
成績評価の方法					
平常点（主体的授業参加度）、学習意欲（学習意欲の有無、授業に取り組む姿勢）これらを総合的に評価する。				平常点	40%
				学習意欲	60%
使用テキスト・教材					
画像・映像資料					
授業内容・授業計画					
			時間数		時間数
1.	オリエンテーション		2		
2.	コミュニケーション力について		2		
3.	〃		2		
4.	ファッション業界について		2		
5.	原料や材料を生産する【川上】		2		
6.	原料や材料から製品を作る【川中】		2		
7.	〃		2		
8.	〃		2		
9.	商品を消費者へ販売する【川下】		2		
10.	目標達成に向けて		2		
履修上の注意事項					
単元内容に応じた課題を確実に提出することが求められる					
その他			関連科目		
※単元ごと演習課題を実施する。					
※実務経験のある教員が担当する科目である。					